

# 公益社団法人高山市シルバー人材センター 令和4年度事業計画

## I 基本方針

現在、一昨年から続く「新型コロナウイルス感染症」の拡大により、社会経済活動は大きな打撃を受け、シルバー事業にも大きな影響が出ている。会員の就業では、イベント等の中止や縮小などにより、請負での契約金額は、令和3年2月末時点では、コロナ禍となる前の令和元年同月比較で18%の減となった。また、会員の登録数においても感染防止による入会説明会の中止などにより、令和元年同月比較で59名の減と大変厳しい状況となっている。今後もこのコロナ感染症の影響はしばらく続くものと推測され、コロナ禍と共存した就業の実現を図らなければならない。

このような状況を踏まえて、必要な感染防止対策を講じつつ、十分な就業機会の確保と創出を行うための取組みを実施し、シルバー人材センターの業務継続体制を構築することにより、就業の担い手となる高齢者が安心・安全に就業し、また、併せて会員の新規入会促進や退会抑制も推し進めていくことが必要となる。

令和4年2月の内閣府「月例経済報告」によれば、景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で一部に弱さがみられ、行先については、感染対策を万全に期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直して行くことが期待される。

一方、雇用情勢では、感染症が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等は持ち直しの動きもみられる。

岐阜労働局管内の令和3年の平均有効求人倍率は1.43倍であり、令和2年の平均有効求人倍率と比較すると0.04倍の微増となっている。

高山管内では、令和3年の平均有効求人倍率は1.12倍と岐阜県の平均値を下回っており、大変厳しい状況と言える。

こうした諸情勢を踏まえたうえで、令和4年度の事業の推進に当たっては、当センターを取り巻く状況を適格に把握するとともに、ハローワーク、高山市、各種関係団体と連携しながらセンター事業の拡大に向けて、積極的な事業運営、さらには地域社会で一層輝く存在となるよう取り組んでいく。

特に、会員の減少は喫緊の課題であり、一部の分野では、就業出来る会員不足のため発注者の要望に応えられない場合も出ている。このため、65歳以上の高齢者は28.4%と年々増加して、しかも身体能力や知的能力も以前と比べて格段若くなっているため、今後も70歳・80歳台の方にも積極的に入会促進に向

けて、入会方法などの見直しを実施し、効率的なマッチングに繋がるよう会員確保の推進に取り組む。

## II 令和4年度の事業目標

センターをめぐる現況を踏まえ、令和4年度の事業目標を次のように設定する。

1. 会員数	750人
2. 契約金額（請負）	2億1千万円
3. 就業率	95%
4. 契約金額（派遣）	4千5百万円

## III 事業計画

### 1. 会員の拡大

センターの事業運営をスムーズに実施するためには、まず第一に会員を確保することが何よりも不可欠である。

今年度は、地域の高齢者が簡単で気軽に入会できるように、会員入会方法等の見直しを行う。

また、引き続きハローワークとの連携による地域巡回相談、就業相談会・就職面接会等に参加し、センターの仕組みと魅力を説明することで、新たな会員の獲得に努め、目標達成を目指す。

- ① 新入会員説明会の開催方法の見直し  
第三水曜日開催を毎週開催に変更する。
- ② 支所地域での入会希望者対応の見直し  
支所地域での入会説明会の開催を検討する。
- ③ 入会手続き等の見直し  
入会申込時の提出書類等の簡素化を図る。

### 2. 就業機会の開拓提供

人生100年時代を迎え、元気なうちはいくつになっても働き続けることができる環境整備のため、就業機会の創出に努める。

また、高齢者の多様な就業ニーズに応じていくため、これまでの請負事業に加えて、事業所での人手不足分野での支えとなれるよう会社等への労働者派遣事業についても積極的に推進する。

### 3. 安全就業の推進

「安心・安全なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業遂行の最優先課題である。会員が安心・安全な就業ができるよう、安全意識に対す

る意識の普及の徹底を図る。また、新型コロナウイルス感染症防止対策に努めながら、会員の安全確保を推進する。

#### 4. 適正就業等の推進

国が示す適正就業ガイドラインは、会員の働き方に係る重要な指針であり、センターの受託事業が多様化する中では重要な判断基準となる。

受注に当たっては、公益法人として法令遵守の立場からガイドラインに沿った適正な事業運営の拡大に取り組む。

#### 5. 自主事業の推進

自主事業は、会員の創意と工夫によって企画し、自らが実施することにより、会員の就業機会の拡大・確保につなげることができるので「おもてなし案内人事業」を積極的に推進する。

新型コロナウイルス感染症拡大により観光客は激減しているが、今後少しずつ持ち直していくことが期待される。

今後も引き続き、おもてなしの心をもってさまざまな観光客のニーズに応えられるよう勉強会等を行い、ガイドの資質の向上を図る。また、新人ガイド講習会を開催し、新会員の確保と併せて後継者の育成を図る。

#### 6. 指定管理施設の運営事業

引き続き、指定管理者として高山市より指定を受けたため、老人いこいの家（丹生川、国府）及び国府町木曾垣内地区体育施設について、指定管理者として管理運営を行う。

今後も地域の利用者が安全・快適に利用できるようその運営に努める。

#### 7. 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

請負・委任業務では受注できない業務（発注者の指揮命令下での作業、従業員との混在作業等）に対応し、若年労働者の人手不足を補うため岐阜県シルバー人材センター連合会（以下「連合会」という）のシルバー派遣事業の高山市事務所として市内の会社等への派遣事業を行っている。

現在、派遣事業の実績は、年々少しずつではあるが増加傾向にある。今後も人手不足問題を抱える地域の事業所での下支えとなれるようハローワーク・各関係者団体等と連携し、派遣業務の拡大を推進する。

また、利用しやすいシルバー派遣事業として、事業所等へのPRを継続して行い、理解と協力を得るよう努める。

#### 8. 職業紹介事業

センター会員及び会員以外の高齢者を含めた高年齢者の職業紹介をするために、連合会の有料職業紹介事業の高山市事務所を開設している。引き続き高齢者の臨時的かつ短期的な仕事又はその他軽易な業務に係る雇用による仕事の求人者の受付け及び求職者への職業紹介を行う。

## 9. 普及啓発事業

シルバー事業を広く市民等に理解してもらうため、市広報誌への掲載やホームページによる情報発信、リーフレット等により事業の意義と基本的な理念や仕組みを市民に周知し、高齢者の入会促進や受注開拓に結びつくよう広報活動を行う。

また、会員に対しシルバー人材センターとの連携を保つため会報「こだま」を年数回発行する。

## 10. ボランティア活動

地域の一員として地域社会に貢献するため、「できる範囲で」のボランティア活動の促進を図る。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動の一部を中止とした。今年度は、状況を見て互助会の協力のもとで地域でのボランティア活動の拡大を図る。

## 11. センターの健全経営について

センターの運営は関係法令を遵守し、公益性の高い事業展開と財政面での健全性を保ちながら、地域社会から信頼される公益社団法人として「自主、自立、共働、共助」の基本理念のもと地域社会づくりに貢献することを目指す。

また、組織・財政面で運営の適正化を図り、事務局機能の効率化など、限られた財源を有効に活用できるよう、経営の健全化に努める。